

1本のいのちの下で

Under A-Bomb Tree Weeping Willow of HIROSHIMA 8/6 2025

1本のいのちの下で

Under A-Bomb Tree Weeping Willow of HIROSHIMA



被爆80年。ヒロシマの「被爆樹木」の下に集いませんか？

「あなたは被爆樹木を知っていますか？」被爆樹木とは1945年8月6日8:15にヒロシマに投下された原爆によってダメージを受け、今も生き続けている樹木です。本企画は、被爆樹木をもっと多くの人に知ってもらい、被爆樹木の下に集うことで、【「今」を共に感じ合い、共有する機会をつくりたい】と、2017年から実施し、今年で7回目の開催となります。（※）

この企画の代表を務める浅見は2012年被爆樹木に初めて出会いました。それから毎年、わたしたちと同じように生き、日々変化している「被爆樹木の時間」を感光紙に直接焼き付ける作品『呼吸する影-被爆樹木のフォトグラム-』を制作しています。その中で、1年に1枚だけ撮影することができる特別な制作があります。8/6の8:15に爆心地から最も近い370mで被爆した「シダレヤナギ」の撮影です。この作品制作を公開する他、企画趣旨に賛同し集まったアーティストたちが作品展示やワークショップ、ライブパフォーマンスを行います。（※：2018年～広島市青少年センターと連携。2020・2021年は、COVID-19の影響で中止）

ぜひ被爆樹木とわたしたちに会いに来てください。木の下で語らいましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

●プログラム Program

8/6 (水)	① 8:15-9:00	作品公開制作（被爆樹木シダレヤナギの撮影を公開します）
	② 9:00-17:00	参加作家作品展示・活動紹介展示
	③ 9:00-10:30	ライブ・トーク・パフォーマンスイベント①
	④ 13:00-14:00	アーティストトーク・写真ワークショップ
	⑤ 15:00-16:30	ライブ・トーク・パフォーマンスイベント②
	⑥ 16:30-16:45	フィナーレイベント

●開催場所 Venue

- ①・③・⑥ 被爆樹木シダレヤナギの下（広島県広島市中区基町14：爆心地から370m）
②・④・⑤ 広島市青少年センター1Fロビー他（広島県広島市中区基町5-61）

●関連企画 Project Tour

- 「1本のいのちの下で」の活動を共有し、参加作家と集った方々との交流を行うツアープログラム
・7/21(月・祝) 15:00-17:00 「STAND COFFEE コトコト」（埼玉県さいたま市南区南本町2-7-12）
・7/27(日) 15:00-17:00 「マーブルテラス」（埼玉県さいたま市浦和区常盤10-21-9 コミュニとときわ1階）
・8/2(土) 15:00-17:00 「月とつばみ」（東京都世田谷区桜上水5-24-2）
・8/5(火) 19:00-20:30 「kitokoi（樹と鯉）」（広島県広島市中区土橋町2-29）
・10/4(土) 14:00-18:00 「青砥写真研究所」（東京都葛飾区高砂1-12-13）

- ・全てのプログラムは事前申し込み不要。
・プログラムの参加は一部有料。（④写真ワークショップ参加費：「影をつかまえる」：500円；「BODY PRINT」11000円）
・平熱と比べて高い発熱が確認された方、及び風邪症状がある方、体調不良と思われる方は、来場・参加をお控え下さい。
・熱中症対策として、水分や塩分を補給できるもの、タオル等を持参してください。
・小学校4年生以下のお子様は保護者同伴でご参加ください。

▶写真ワークショップ「影をつかまえる」・「BODY PRINT」



写真ワークショップ「影をつかまえる」は、カメラを使わないフォトグラムという手法で、被爆樹木シダレヤナギの影や、あなたの大切なもの、記憶の品の影を撮影します。「BODY PRINT」は等身大の身体を撮影します。

▶ライブ・トーク・パフォーマンスイベント



ロケーションを生かした様々な表現方法のパフォーマンスを実施。

シダレヤナギ Weeping Willow



被爆樹木。現存する被爆樹木の中で、爆心地から最も近い370mで被爆した。原爆で地上の樹木は倒れたが残った根元から芽を吹き出した。毎年、長く美しい枝葉でさらさらと風を梳く。

もろえるり Ruri Moroe



絵本音楽家・ピアノ・ボイトレ講師
2019年～さいたま市で音楽教室「Sound Free Joy」を開業。
自己表現・音楽・自律を柱に、教育理念は「創造と個性を世界へ」。2022年より、【絵本と音楽プロジェクト】を活動中。

Akane Akane Kouno



モデル・パフォーマー
19歳。埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学校をこの春卒業。インクルーシブな社会を目指し、ファッションショーやミュージカル、朗読劇などのパフォーマンスアート等、積極的にチャレンジしている。劇団「てあとのり」メンバー。グローバルモデルソサエティ所属。

瑛伶 EIRAY



書家・アーティスト
埼玉県出身。広島にルーツを持ち、幼少期から戦争とその背景にある社会構造に着目する。伝統的な書法や素材を用いながら人間の存在と意識、言語と社会の関係などをテーマに新たな表現方法を試みている。

堤直人 Naoto Tsutsumi



図画工作者
靴のデザイナー企業宣伝部での広告物制作を経て、2019年より自由人となる。2023年から学生時代以来37年振りの制作活動を再開。自然のモノ、カタチが美しいと感じることとあります。

浅見俊哉 Shunya Asami



写真作家・ワークショップデザイナー
本企画代表。「時間」と「記憶」をテーマに写真制作。2012年からヒロシマの被爆樹木の生きている影を感光紙に焼き付けている。ワークショップやアートプロジェクト、様々な地域の芸術祭の企画も多数手がける。「場」づくりに積極的に取り組む。

石谷美聡 Satopi



クラリネット奏者・イラストレーター
埼玉県出身。武蔵野音楽大学大学院を修了後、クラリネットの演奏や指導に携わる一方、絵本のようなやさしいタッチのイラストも制作。音楽と言葉、絵を組み合わせた温かな表現を大切に、演奏会や展覧、動画など幅広い形で創作を届けている。

畠中秀幸 Hideyuki Hatakenaka



左手のフルート・建築家：1969年広島県生まれの被爆3世。京都大学建築学大学院修士。建築家として2009年札幌市都市景観賞などを受賞。2011年に脳卒中を患い手や肺などの右半身の機能を失いながらも、音響的に優れた建築を手掛けたつつ、G7レセプションや築地本願寺などで演奏。2024年音楽之友社から「左手のフルーティスト」発刊。

Life Garden



シンガーソングライター・画家
シンプルなギターと叙情的な歌詞で独自の世界を描くギター・ヴォーカル。また、油彩・鉛筆画・スプレー等さまざまな技法・素材によるビジュアルアート作品を制作。絵画・音楽表現を通じて人間の内に潜む哀しみや温もり、形にならない想いを表現する。

Wmika Mika Fujiwara



被爆樹木の絵本「きつときこえるよ」作家
2017年、絵本好きの主婦2人が、被爆樹木の声をきこえたいと一念発起。多くの出会いと支えにより、1年8ヶ月かけて被爆樹木が主人公の絵本を制作。現在、絵本の読み手向け講習会や、被爆樹木の周知活動に取り組む。

小川紗綾佳 Sayaka Ogawa



シンガーソングライター・千葉県出身。
武蔵野音楽大学卒業。作曲家としてCM・番組テーマの制作や楽曲提供を行い、教育や医療、スポーツ界、芸術界など音楽を通じてジャンルを超えた取り組みを行う。幅広い表現を行う一方、幼少からの自然への憧れと畏敬の念から四季の移り変わりや植物の美しさをモチーフとした西洋クラシックの系譜を継ぐ表現主義音楽の新たな創造性を追求している。

- 日時：2025年8/6（水）●場所：被爆樹木シダレヤナギの下・広島市青少年センター
●問い合わせ：082-228-0447（広島市青少年センター）E-mail:shunya.asami@icloud.com
●主催：「1本のいのちの下で」運営チーム
●企画協力：広島市青少年センター・STAND COFFEE コトコト・マーブルテラス・Kitokoi（木と鯉）・月とつばみ・祐源紘史・浅見礼芽・ご参加いただいた皆様
●ウェブサイト：<https://underabombedtreesp.wixsite.com/artproject>

